岐阜工業高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	建築設計製図Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	0041	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	特に教科書は指定しないが、積極的に建築およびデザイン関係の書籍・雑誌に目を通し、知識を蓄えること		
担当教員	今田 太一郎		

到達目標

建築設計製図の集大成として、教員から示されるテーマを手がかりに学生自ら具体的に課題を設定し、設計を進める。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
①説得力のある設計テーマが設定できる	説得力のある設計テーマが設定できる（８割以上）	説得力のある設計テーマが設定できる（６割以上）	説得力のある設計テーマが設定できない
②企画を十分練ることができる	企画を十分練ることができる（８割以上）	企画を十分練ることができる（６割以上）	企画を十分練ることができない
③企画を具体化する魅力的な建築などがデザインできる	企画を具体化する魅力的な建築などがデザインできる（８割以上）	企画を具体化する魅力的な建築などがデザインできる（６割以上）	企画を十分練ることができない
④計画内容に即した適切な表現ができる	計画内容に即した適切な表現ができる（８割以上）	計画内容に即した適切な表現ができる（６割以上）	計画内容に即した適切な表現ができない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	・自ら課題を発見して建築の企画・作成能力をつける。 ・企画を空間として具体化する能力を磨く。 ・CAD・CGを駆使して、デザインを行う能力を磨く。 ・計画を相手に的確に伝える能力を高める。
授業の進め方・方法	・教員が提示するテーマに従って、コンセプト、企画、具体的な敷地設定などを行い、各自が計画を進めていく。 ・計画の各段階で、個々に担当教員の指導を受けながら、計画内容を煮詰めていく。
注意点	設計製図の集大成として、自ら計画を立て、主体的に進めていくこと。 設計のために必要な最大限の資料や情報を自ら検索し、整理することを勧める。 計画を考える際には、手を動かし文字や形にしながら考えを進めることが重要である。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	概論・課題の提示	
		2週	エスキース１（企画・コンセプトの検討１）	
		3週	エスキース１（企画・コンセプトの検討２）	
		4週	エスキース３（ダイアグラム・基本プラン作成）	
		5週	エスキース４（平面図１）	
		6週	中間発表１（ポスターセッション方式）	
		7週	エスキース５（立断面図１）	
		8週	エスキース６（平面図２）	
	2ndQ	9週	エスキース７（平立断面図）	
		10週	エスキース８（全体計画の整合性の確認）	
		11週	中間発表２（ポスターセッション形式）	
		12週	エスキース９（プレゼンテーション１）	
		13週	エスキース10（プレゼンテーション２）	
		14週	エスキース11（プレゼンテーション３）	
		15週	講評会	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	3	
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	3	
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	3	
				与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	3	
				与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	3	
				設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	3	
				講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0

専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0